

入 札 公 告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 3 年 6 月 3 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 管理部門長 銭谷 弘

1. 調 達 内 容

- (1) 調達件名及び数量 (単価契約) 東シナ海～日本海で採集された動物プランクトン試料の分析業務 一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 入札説明書による。
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 入札金額は、契約希望単価に予定標準数を乗じて算出した金額を記載された金額(当該金額に1円未満の端数を切り捨て、消費税及び地方消費税を110%に相当する金額を加算した金額)をその入札者である者の110%の金額に記入すること。

2. 競 争 参 加 資 格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程(平成13年4月1日付け13水研第65号)第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成31・32・33年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「調査・研究」または「その他」で「A」、「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、全省庁統一資格に格付けされている場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第32条第1項各号に掲げる者でないこと。
- (5) 本業務を履行しうる知識、技術を有することを証明した者であること。
- (6) 仕様書を踏まえた実施体制を整備すると共に、業務責任者(分析結果における全責任を負う者)を有していることを証明した者であること。

3. 入 札 説 明 書 等 の 交 付 方 法

- 競争参加希望者は、以下により入札説明書等(入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等)の交付を受けること。
- ① 直接交付
長崎県長崎市多良町1551-8
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所管理部門管理課
電話 095-860-1624
FAX 095-850-7767
- ② 郵送による交付
封書に「入札説明書希望」と記入し、返信用封筒(角2)に250円切手を貼付し、上記①あて郵送のこと。
- ③ メールによる交付
任意書式に「(単価契約)東シナ海～日本海で採集された動物プランクトン試料の分析業務入札説明書メールアドレス、希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

4. 入 札 説 明 会 の 日 時 及 び 場 所 等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和3年6月11

日記を、上記2.(5)及び(6)を証明する証明
 載)取りも、当該日。内容に個人に関する情報であって特定の個人を侵害し
 疑うと説明、対応、し得るの記述を公表せず、質疑者のみ回答すること
 入札説明書、当該質疑の内容に個人に関する情報であって特定の個人を侵害し
 入札説明書、当該質疑の内容に個人に関する情報であって特定の個人を侵害し

5. 証明に関する事項

- (1) 証明書等
 (2) 提出場所
 (3) 提出期限

競争参加者は、上記2.(5)及び(6)を証明する証明
 書等を提出しなければならない。
 3. ①に同じ。
 令和3年6月18日 12時00分
 入札書及び証明書等は、上記日時まで提出。
 開札は、証明書の審査に合格した者の入札書のみ下記6.
 (2)にて行う。

6. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札書の受領期限
 及び提出場所
 (2) 開札の日時及び場所

令和3年6月29日 12時00分
 3. ①に同じ。
 令和3年6月29日 14時00分
 長崎県長崎市多良町1551-8
 国立研究開発法人水産研究・教育機構
 長崎庁舎 小会議室

7. その他

- (1) 契約手続きにおいて
 使用する言語及び通貨
 (2) 入札保証金及び契約保証金
 (3) 入札の無効
 (4) 契約書作成の要否
 (5) 落札者の決定方法
 (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書
 写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
 (7) 詳細は入札説明書による。

日本語及び日本国通貨。
 免除。
 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書
 及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
 要。
 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札
 を行った入札者を落札者とする。
 写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。

8. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先
 次の①及び②いずれにも該当する契約先
 ① 当機構において役員を経験した者(役員経験者)が再就職していること又は課長相
 当職以上の職を経験した者(課長相当職以上経験者)が役員、顧問等^{※注1}として
 再就職していること
 ② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること
^{※注2}
 なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発
 法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。
^{※注1} 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する
 者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与
 える者と認められる者を含む。
^{※注2} 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げ
 られた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実
 績による。
- (2) 公表する情報
 上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約
 締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
 ① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者(当機構OB)の人数、職名及び当

再就職していること又は課長相
 当職以上経験者)が役員、顧問等^{※注1}として
 3分の1以上を占めていること
^{※注2}
 国立研究開発
 大校を含みます。
 有する
 与
 掲げ
 の実

- 機構における最終職名
- ② 当機構との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
- 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了解願います。

9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文科科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業務仕様書

1. 件名 (単価契約) 東シナ海～日本海で採集された動物プランクトン試料の分析業務

2. 業務及び目的

(1) 冬季東シナ海陸棚域の動物プランクトン同定・計数・計測業務

上記業務は、冬季の東シナ海陸棚域における浮魚類の餌料環境を把握するため、動物プランクトンを種レベルで同定・計数・計測することを目的とする。

(2) 春季東シナ海陸棚域の動物プランクトン同定・計数・計測業務

上記業務は、春季の東シナ海陸棚域における浮魚類の餌料環境を把握するため、動物プランクトンを種レベルで同定・計数・計測することを目的とする。

(3) 海洋モニタリング調査定線の動物プランクトン同定・計数・計測業務

上記業務は、東シナ海の調査定線における動物プランクトン群集の季節変動を把握するため、動物プランクトンを種レベルで同定・計数・計測することを目的とする。

(4) マアジ仔稚魚の餌料プランクトン同定・計数・計測業務

上記業務は、浮魚類、特にマアジ仔稚魚の餌料環境を把握するため、主に東シナ海陸棚域で冬季に採集された動物プランクトン試料を分析することを目的とする

(5) 冬季九州周辺～日本海西部海域の動物プランクトン同定・計数・計測業務

上記業務は、冬季の九州周辺～日本海西部海域における浮魚類の餌料環境を把握するため、動物プランクトンを種レベルで同定・計数・計測することを目的とする。

(6) 大型クラゲ幼生及び餌料動物プランクトン同定・計数・計測業務

上記業務は、東シナ海の大規模クラゲ頻出海域において大型クラゲ幼生出現の有無を確認すること及び餌となる動物プランクトンを種レベルで同定・計数・計測することを目的とする。

3. 予定検体数 合計 550 検体

業務(1) 100 検体:

網目幅 100 μ m の改良型ノルパックネットによる水深 50-150m 以浅の鉛直曳網 1 回で得られた曳網試料を 1 検体とする。 試料送付は契約後 2 週間以内を予定。

業務(2) 100 検体:

網目幅 100 μ m の改良型ノルパックネットによる水深 50-150m 以浅の鉛直曳網 1 回で得られた曳網試料または網目幅 100 μ m の VMPS 鉛直区分採集の各採集層で得られた試料を 1 検体とする。 試料送付は契約後 2 週間以内を予定。

業務(3) 80 検体:

網目幅 100 μ m の改良型ノルパックネットによる水深 150m 以浅の鉛直曳網 1 回で得られた曳網試料または網目幅 100 μ m の VMPS 鉛直区分採集の各採集層で得られた試料を 1 検体とする。 試料送付は8月に 20 検体、2月に 15 検体の予定。

業務(4) 80 検体:

網目幅 100 μ m の改良型ノルパックネットによる水深 150m 以浅の鉛直曳網 1 回で得られた曳網試料を 1 検体とする。 試料送付は契約後 2 週間以内を予定。

業務(5) 140 検体:

網目幅 335 μ m の改良型ノルパックネットによる水深 150m 以浅の鉛直曳網 1 回で得られた曳網試料を 1 検体とする。 試料送付は契約後 2 週間以内を予定。

業務(6) 50 検体:

網目幅 100 μ m の改良型ノルパックネットによる水深 150m 以浅の鉛直曳網 1 回で得られた曳網試料または網目幅 100 μ m の VMPS 鉛直区分採集の各採集層で得られた試料を 1 検体とする。試料送付は8月の予定。

4. 成果品 長崎県長崎市多以良町 1551-8
納入場所 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所
5. 履行期限 業務(1)、(2)、(4) 令和4年1月28日
業務(3)、(5)、(6) 令和4年3月22日
6. 業務内容 当所から送付する(1)~(6)の試料について、以下のとおり作業を行うこと。

① 試料の分割処理

まず、各試料からゴミを取り除き、大型プランクトン(注)を選別する。ゴミの除去と大型プランクトンの選別を終えた試料は、分割器を用いて1/2に分割する。分割した試料はそれぞれ1/2A試料、1/2B試料とする。

(注)大型プランクトンの定義：体長3cm以上を目安とし、分類群としてはクラゲ類・ヒカリボヤ・サルパ・その他大型甲殻類等を含む。ヤムシ類・オキアミ類は大型プランクトンの対象としない。

② 沈殿量と湿重量の測定

1/2B試料を沈殿管等に移し、一日静置した後に、その容量を1mlの精度で測定する。沈殿量の測定後、試料から海水をできる限り除去し、湿重量を0.1mgの精度で測定する。

③ 分類群の同定と個体数の計数

大型プランクトン及び1/2A試料について、動物プランクトン分類群の同定と個体数の計数を行う。同定の基準はア)~サ)に示す分類群とするが、種の判別が容易なものは可能な限り種レベルの同定結果も示すこと。1/2A試料は顕微鏡による観察のため、更に分割しても良い。ただし、分割の程度は、カイアシ類コペポデイト期を200個体以上計数できる範囲とする。これら1/2A試料の分割試料及び濃縮した採水試料を検鏡用試料とする。同定作業は「日本産海洋プランクトン検索図説」を基本に、Web Site “World Register of Marine Species” を参考にしながら、最新の情報を取り入れて行う。根拠とした文献・情報は分析結果表に付記すること。分析作業は黒潮域の動物プランクトン(特にカイアシ類)に精通した者が行うこと。

ア) カイアシ類：成体については世界中の海産浮遊性カイアシ類に関する Web Site “Marine Planktonic Copepod” を参照し、これにリストアップされている種は全て同定し個体数を計数する(参考として別紙1「東シナ海におけるカイアシ類出現種リスト」を添付する)。計数の際には成体雌・成体雄を分けて記録する。*Calanus* 属については未成体のコペポデイト期も種同定を行い、各ステージの個体数を計数する。その他のコペポデイト期については属レベルまでの同定を基準とするが、可能な限り種レベルで同定を行い各ステージの個体数を計数する。ノープリウス幼生は目から科レベルで可能な限り同定する(*Calanus* 属について、種の同定が可能なノープリウス幼生が出現した場合は、種レベルで計数する)。

- イ) クラゲ類(刺胞動物・有櫛動物)： 綱レベルの同定・計数を行う。なお、業務(6)で大型クラゲ(*Nemopilema nomurai*)のエフィラ幼生が出現した場合は傘径を測定し、別途スクリー管等に保存する。
- ウ) 腹足類： 科レベルの同定・計数を行う。
- エ) 多毛類(浮游性)： 綱レベル(Polychaeta)の同定・計数を行う。
- オ) 枝角類： 種レベルの同定・計数を行う。
- カ) 介形類： 綱レベル(Ostracoda)の同定・計数を行う。
- キ) 軟甲類： 以下の基準とする。
 - オキアミ類： 成体・未成体は種レベルの同定・計数を行う。幼生はノープリウス、メタノープリウス、カリプトピス、フルシリアの各発育ステージに分けて計数する(幼生について分類情報のある種は、可能な場合、種レベルで同定・計数する)。詳細については作業開始前に担当職員と協議すること。
 - 十脚類： 科レベルの同定・計数を行う。
 - 端脚類： 亜目レベル(Hyperiidea, Gammaridea)の同定・計数を行う。
 - その他： 可能な限り種レベルで、目レベルまでの同定・計数を行う。
- ク) ヤムシ類： 種レベルの同定・計数を行う。
- ケ) タリア類： 以下の基準とする。
 - ヒカリボヤ： 群体について種レベルの同定・計数を行う。
 - サルパ： 単独個体と連鎖個体を分け、種レベルの同定・計数を行う。
 - ウミタル： 属レベル以上の同定・計数を行う。ナース世代は纏めて良い。
- コ) 尾虫類： 種レベルの同定・計数を行う。サンプルの保存状態が悪い場合でも可能な限り科レベルで同定する。
- サ) 一時性プランクトン(魚卵・稚仔魚含む)： フジツボ幼生(キプリス・ノープリウス)及びカタクチイワシ卵は確実に同定する。その他は請負業者における最終責任者(または分析担当者)が知識を持つ範囲で可能な限り計数・同定する。

なお、大型プランクトンについては、同定と計数の後に湿重量を測定した後、別途スクリー管瓶等に保管すること。業務(6)で大型クラゲ(*Nemopilema nomurai*)の若齢個体が出現した場合は傘径の測定も実施し、別途スクリー管等に保管すること。

④ 体長測定

検鏡用試料で同定・計数した動物プランクトンについては、体長・体幅など重量換算に必要な指標部位の測定を行う。測定値からの重量(湿重量、乾燥重量、炭素重量)換算式も示すこと。測定部位については、「沿岸環境調査マニュアル(日本海洋学会編、恒星社厚生閣)」「地球環境調査計測事典 第3巻 沿岸域編(竹内均監修)」などを参照し、決定する。詳細については作業開始前に担当職員と協議すること。

⑤ 成果品提出

以下の情報を別紙2、別紙3を参考にして Microsoft Excel シートか、カンマ区切りテキストファイルに纏め、分析結果表として担当職員宛に電子メールで提出する。Microsoft Excel シートの場合は全試料のデータをア)～オ) 毎に1シートに纏めること。

ア) 実計数値・分割率

イ) 採集当たり個体数(個体数/試料)。

採集当たり個体数については、検鏡用試料と大型プランクトンの個体数を合計し、カイアシ類については目名・科名も付記する。

- ウ) 指標部位計測値
- エ) 湿重量・沈殿量値
- オ) 大型プランクトンに関する情報(クラゲ類傘径・湿重量など)
- カ) 分析担当者名

7. 分析終了後の試料処理

分析後の試料は以下の要領で処理すること(1/2A、1/2B 試料の保管方法の詳細については別紙 4 を参照)。

- ① 1/2B 試料: 内蓋付の 50 ml ガラス製瓶に入れる。容器内は 5%ホルマリン海水で満たす。蓋に「船名(航海番号)」「定点番号」「ネット種類」「採集層」と、「1/2 - B」の文字を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- ② 1/2A 試料(未検鏡分): 内蓋付の 50 ml ガラス製瓶に入れる。容器内は 5%ホルマリン海水で満たす。蓋に「船名(航海番号)」「定点番号」「ネット種類」「採集層」と、元の試料に対する分割率、「A」の文字を記入する。(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- ③ 検鏡用試料: 10 ml スクリュー管に入れる。容器内は 5%ホルマリン海水で満たす。蓋に試料全体に対する分割率と、「A」の文字を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。
- ④ 大型プランクトン試料: 適切なサイズのスクリュー管に入れ、容器内は 5%ホルマリンで満たす。蓋に「船名(航海番号)」「定点番号」「採集層」「内容物名(「クラゲ」「サルパ」「ヒカリボヤなど)」を記入する(耐水性のシールを貼付しても良い)。

8. 試料返却

7. で処理した①、②は標準のコンテナ(例:三菱樹脂・ヒシコンテナ S-14 黄色)に 58 本ずつ収納すること。また標準サンプル瓶蓋の一番上のラベルに 1~58 までの通し番号を記入すること。ただし複数本に分けたサンプルについては全て同じ番号を記入すること。一つのコンテナに採集月の異なる試料などが混在しても構わない。コンテナの面積の小さい 2 側面にはラミクロステープ(同等品可)を貼付した上で通し番号を記載すること。試料及びコンテナに記載した通し番号を返送試料の一覧に入力すること。コンテナには新聞紙等の緩衝材をいれ、さらに三段重ねにした上で最上部のコンテナに蓋(三菱樹脂・ヒシコンテナ S-1 用・黄色)をし、PP バンド(プラスチックバンド)等で結束した上で当所へ送付すること。元々試料が入っていた瓶は洗浄して返送する。返却時の送料・容器は請負業者負担とする。③、④については、適切なコンテナに緩衝材と共にいれて当所へ送付すること。

9. その他

- ① 請負業者は試料受領後、速やかに試料と試料一覧表を照合し、試料の状態等について確認を行い、担当職員へ受領した旨を連絡する。試料と試料一覧表との不一致や輸送中の事故があった場合は、取扱いについて担当職員と協議する。なお、引き渡しにかかる送料等は当所負担とする。
- ② 業務に必要な消耗品等は請負業者にて準備すること。
- ③ 成果品の提出の際は必ずファイルのウイルスチェックを行うこと。
- ④ 成果品について当所におけるチェック結果によっては該当の全サンプルの再検を求められることがある。また仕様書に反する成果品が提出された場合や当所でのクロスチェック結果と大きく異なる場合においても全サンプルの再検を求められることがある。

- ⑤ 詳細については担当職員の指示に従うこと。特に作業中に疑義が生じた場合は、必ず担当職員と打ち合わせを行い、合意を得たうえで作業を進めること。
- ⑥ 本業務で知り得た情報について、取扱責任者を置き、社内で適切に管理を行うこと。
- ⑦ 業務で知り得た情報について、第三者への開示をしないこと。

東シナ海におけるカイアシ類出現種リスト

Order	Species	Order	Species	
CALANOIDA	<i>Acartia negligens</i>	CYCLOPOIDA	<i>Paroithona pulla</i>	
	<i>Acartia danae</i>		<i>Oithona atlantica</i>	
	<i>Acartia omorii</i>		<i>Oithona attenuata</i>	
	<i>Acartia pacifica</i>		<i>Oithona brevicornis</i>	
	<i>Aetideus acutus</i>		<i>Oithona davisae</i>	
	<i>Haloptilus longicornis</i>		<i>Oithona decipiens</i>	
	<i>Calanus sinicus</i>		<i>Oithona fallax</i>	
	<i>Canthocalanus pauper</i>		<i>Oithona fragilis</i>	
	<i>Cosmocalanus darwini</i>		<i>Oithona longispina</i>	
	<i>Mesocalanus tenuicornis</i>		<i>Oithona nana</i>	
	<i>Mesocalanus lighti</i>		<i>Oithona plumifera</i>	
	<i>Nannocalanus minor</i>		<i>Oithona rigida</i>	
	<i>Neocalanus gracilis</i>		<i>Oithona setigera</i>	
	<i>Undinula vulgaris</i>		<i>Oithona similis</i>	
	<i>Calocalanus pavo</i>		<i>Oithona simplex</i>	
	<i>Calocalanus plumulosus</i>		<i>Oithona tenuis</i>	
	<i>Calocalanus styliremis</i>		<i>Oithona vivida</i>	
	<i>Paracandacia truncata</i>		MORMONILLOIDA	<i>Mormonilla minor</i>
	<i>Paracandacia bispinosa</i>		HARPACTIDOIDA	<i>Clytemnestra rostrata</i>
	<i>Candacia bipinnata</i>			<i>Clytemnestra scutellata</i>
	<i>Candacia pachydactyla</i>			<i>Microsetella norvegica</i>
	<i>Candacia simplex</i>			<i>Microsetella rosea</i>
	<i>Candacia discaudata</i>			<i>Macrosetella gracilis</i>
	<i>Centropages furcatus</i>			<i>Euterpina acutifrons</i>
	<i>Centropages gracilis</i>		POECILOSTOMATOIDA	<i>Corycaeus affinis</i>
	<i>Clausocalanus arcuicornis</i>			<i>Corycaeus agilis</i>
	<i>Clausocalanus farrani</i>			<i>Corycaeus andrewsi</i>
	<i>Clausocalanus furcatus</i>			<i>Corycaeus asiaticus</i>
	<i>Clausocalanus mastigophorus</i>			<i>Corycaeus catus</i>
	<i>Clausocalanus minor</i>			<i>Corycaeus crassiusculus</i>
	<i>Clausocalanus parapergens</i>	<i>Corycaeus erythraeus</i>		
	<i>Clausocalanus paululus</i>	<i>Corycaeus furcifer</i>		
	<i>Clausocalanus pergens</i>	<i>Corycaeus giesbrechti</i>		
	<i>Ctenocalanus vanus</i>	<i>Corycaeus limbatus</i>		
	<i>Rhincalanus cornatus</i>	<i>Corycaeus lautus</i>		
	<i>Rhincalanus nasutus</i>	<i>Corycaeus longistylis</i>		
	<i>Eucalanus pileatus</i>	<i>Corycaeus pacificus</i>		
	<i>Eucalanus subtenuis</i>	<i>Corycaeus speciosus</i>		
	<i>Euchaeta rimana</i>	<i>Corycaeus subtilis</i>		
	<i>Euchaeta indica</i>	<i>Corycaeus typicus</i>		
	<i>Paraeuchaeta concinna</i>	<i>Farranula carinata</i>		
	<i>Paraeuchaeta longicornis</i>	<i>Farranula concinna</i>		
	<i>Paraeuchaeta plana</i>	<i>Farranula gibbula</i>		
<i>Paraeuchaeta russelli</i>	<i>Farranula rostrata</i>			
<i>Heterorhabdus papilliger</i>	<i>Lubbockia squillimana</i>			
<i>Lucicutia flavicornis</i>	<i>Oncaea clevei</i>			
<i>Mecynocera clausi</i>	<i>Oncaea media</i>			
<i>Pleuromamma abdominalis</i>	<i>Oncaea mediterranea</i>			
<i>Pleuromamma gracilis</i>	<i>Oncaea scottodicarloi</i>			
<i>Pleuromamma indica</i>	<i>Oncaea venusta f. typica</i>			
<i>Pleuromamma xiphias</i>	<i>Oncaea venusta</i>			
<i>Acrocalanus gibber</i>	<i>Oncaea venusta f. venella</i>			
<i>Acrocalanus gracilis</i>	<i>Oncaea waldemari</i>			
<i>Acrocalanus longicornis</i>	<i>Triconia conifera</i>			
<i>Delius nudus</i>	<i>Triconia dentipes</i>			
<i>Paracalanus aculeatus</i>	<i>Triconia elongata</i>			
<i>Paracalanus crassirostris</i>	<i>Triconia furcula</i>			
<i>Paracalanus denudatus</i>	<i>Triconia giesbrechti</i>			
<i>Paracalanus elegans</i>	<i>Triconia hawii</i>			
<i>Paracalanus nanus</i>	<i>Triconia minuta</i>			
<i>Paracalanus parvus s.l.</i>	<i>Triconia umerus</i>			
<i>Calanopia elliptica</i>	<i>Oncaea zernovi</i>			
<i>Calanopia minor</i>	<i>Oncaea bathyalis</i>			
<i>Scolecithricella longispinosa</i>	<i>Oncaea ovalis</i>			
<i>Scolecithricella vittata</i>	<i>Oncaea tregoubovi</i>			
<i>Scolecithrix bradyi</i>	<i>Sapphirina darwinii</i>			
<i>Scolecithrix danae</i>	<i>Sapphirina nigromaculata</i>			
<i>Scolecithrix nicobarica</i>	<i>Copilia quadrata</i>			
<i>Temoropia mayumbaensis</i>	<i>Copilia mirabilis</i>			
<i>Temora discaudata</i>	<i>Hemicyclops japonicus</i>			
<i>Temora turbinata</i>	<i>Ratania flava</i>			

分析結果表・個体数(例)

LNP 0.1

(個体数/試料)

Cruise no.		YK1413	YK1413	YK1413	YK1413	YK1413	YK1413
Station no.		1	2	3	4	5	6
Year		2015	2015	2015	2015	2015	2015
Month		2	2	2	2	2	2
Day		18	18	18	19	19	19
Time		7:35	13:13	20:31	0:25	4:52	9:18
Lat.		29° 44.986 N	29° 45.412 N	29° 15.083 N	29° 15.101 N	29° 14.724 N	28° 44.839 N
Lon.		128° 45.170 E	128° 15.235 E	127° 45.487 E	128° 15.332 E	128° 45.276 E	128° 39.980 E
magnification of subsample		64.0	64.0	64.0	64.0	32.0	64.0
Hydroida			**	**			
Siphonophora							**
Pteropoda		**	**	**	**	**	**
Heteropoda							
Bivalvia		**		**	**		
Polychaeta			**	**	**	**	**
Podon spp.							
Evadne nordmanni							
Evadne tergestina							
Ostracoda				**	**	**	**
Acartia negligens	f						
Acartia negligens	m						
Acartia danae	f						
Acartia danae	m						
Acartia omorii	m						
Acartia	c		**		**	**	
Undeuchaeta plumosa	m						
Aetideidae	m						
Aetideidae	c						
Haloptilus	c						
Calanus sinicus	f						
Calanus sinicus	m						
Calanus sinicus	cV		**				
Calanus sinicus	cIV						
Calanus sinicus	cIII						
Calanus sinicus	cII						
Calanus sinicus	cI		**				
Canthocalanus pauper	f						
Canthocalanus pauper	m		**				
Cosmocalanus darwini	f	**	**		**		
Cosmocalanus darwini	m	**			**		
Mesocalanus tenuicornis	f						
Nannocalanus minor	f						
Neocalanus gracilis	f						
Undinula vulgaris	f						
Undinula vulgaris	m						
Calanidae	c	**		**	**	**	**
Calocalanus pavo	f						
Calocalanus plumosus	f						
Calocalanus	f	**		**			
Calocalanus	c	**	**	**	**	**	**
Candacia bipinnata	m						
Candacia catula	f						
Candacia longimana	m						
Paracandacia bispinosa	f						
Paracandacia bispinosa	m						
Paracandacia truncata	m						
Candaciidae	c						**
Centropages	c						
Ctenocalanus vanus	f			**			**
Ctenocalanus vanus	m						
Ctenocalanus vanus	c		**	**			**
Clausocalanus arcuicornis	f			**			
Clausocalanus arcuicornis	m	**		**			
Clausocalanus farrani	f	**	**		**	**	**
Clausocalanus furcatus	f		**	**			
Clausocalanus furcatus	m						
Clausocalanus mastigophorus	f					**	
Clausocalanus mastigophorus	m						
Clausocalanus minor	f		**				
Clausocalanus minor	m						
Clausocalanus parapergens	f			**	**		
Clausocalanus parapergens	m						
Clausocalanus pergens	f			**		**	**
.....							
Total		**	**	**	**	**	**
Wet weight (g)		**	**	**	**	**	**

動物プランクトン標本の保管方法

- ◎ プランクトン標本(1/2A、1/2B)は標本ラベルと共に 50ml 標準サンプル瓶(UM サンプル瓶、アズワン番号 5-128-01)に入れる。
- ・1本の瓶に収容出来ない場合は複数本に分けて収容する。
 - ・サンプル瓶の蓋にはラベル 3 種を並べて貼付する(※)。
- ◎ サンプル瓶はコンテナ(三菱樹脂・ヒシコンテナ S-14 黄色)に収納。
- ・収納本数:LNP 標本は 58 本/箱
 - ・同一コンテナに採集月の異なる標本が混在しても構わない。
- ◎ コンテナの面積の小さい2側面にラミクロステープ(同等品可)を貼付し、通し番号を記載
 ※サンプル瓶の蓋に貼付するラベル(同等品を使用する場合は、担当者に事前に確認をすること)
- ① 上:タフスポット(三商 商品コード 96-4024)
 コンテナ内の通し番号【1~58】を記入
 ただし、複数本に分けたサンプルには全て同じ番号を記入
- ② 中:タフタッグ(三商 商品コード 96-0849)
 サンプルの採集記録等を記入
 採集年月日、採集機関、船名(航海番号)、定点番号、ネットの種類(LNP、VMPS 等)、目合(64, 100, 335 μ m 等)、採集層(0-150m 等)、曳網方法(鉛直、斜行)、サンプルの分割率(1/1、1/2、1/4 等)、複数本に分けた場合のサンプル瓶数(1/3 本、2/3 本、3/3 本等)を記載
- ③ 下:タフタッグ(三商 商品コード 96-084)
 コンテナ番号を記入(後日、資源研で記入するため、納品時は空欄にしておくこと)

記載例(1 本の場合)



記載例(2 本以上の場合)



サンプル瓶に入れる標本ラベル例(耐水紙)

・ラベルは当所より送付する(同等の耐水ラベルを使用する場合は事前に担当者に確認すること)

表↓

Cruise		Ship		ST
YK1802		YOKO-Maru		
Year	Month	Date	LMT	
2018	5	9	09:58	<input checked="" type="checkbox"/> Vertical <input type="checkbox"/> Oblique <input type="checkbox"/> Horizontal
Gear	Mesh	Layer	Splitter	
LNP	100	196m	1/1	

Latitude		Longitude	
26°00.038'		126°00.036'	
Flowmeter Rev.	Flowmeter N.	Remarks	
		3水量 30.68m ³	
FRA <small>Fisheries Research Agency</small>			

裏↑

サイズ: 縦 3cm × 幅 8cm 程度